

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 開・閉会式会場等整備基本計画（案）の概要

※基本計画（案）は別冊のとおり

1 基本計画の目的

国体・障スポの開・閉会式は、選手、出演者、観覧者など多数の参加者の来場や行幸啓等がある大規模イベントである。開・閉会式会場等整備基本計画は、開・閉会式会場に必要な仮設整備に当たり、その基本的な考え方や会場全体のゾーニングなど、開・閉会式の安全かつ円滑な実施を図るため策定する。

2 開・閉会式の会場及び開催日

会 場：総合スポーツゾーン新スタジアム

国 体：総合開会式 令和4(2022)年10月1日(土) 総合閉会式 令和4(2022)年10月11日(火)

障スポ：開 会 式 令和4(2022)年10月29日(土) 閉 会 式 令和4(2022)年10月31日(月)

3 開・閉会式会場等整備の基本的な考え方

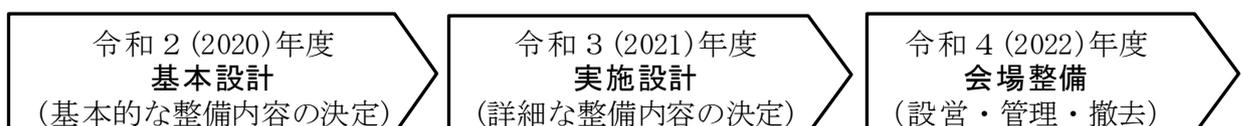
安全性の重視	▶	選手、出演者、観覧者など、すべての人たちの安全性を確保できる会場づくり ・危険箇所の養生など
機能性・快適性の確保	▶	必要な機能を有した施設を適正に配置し、すべての人たちが快適に利用できる会場づくり ・トイレ案内サイン、音声誘導装置の設置など
効率性の追求	▶	既存施設を最大限有効活用し、仮設物を最小限に抑えた会場づくり ・既存施設の利用など
環境への配慮	▶	3R（リデュース・リユース・リサイクル）を基本とした環境に優しい会場づくり ・リース仮設物の利用、ゴミの分別回収など
荒天・熱中症対策	▶	近年の気候変動による荒天や高温などの気象状況に対応できる会場づくり ・強風対策をしたテントの設置など
とちぎの魅力・実力の発信	▶	可能な限り栃木県産の素材を活かした装飾や飾花とし、「とちぎ」の魅力・実力を発信できる会場づくり ・会場装飾や飾花、県産材の利用による「とちぎ」らしさの演出など

4 ゾーニング・動線の基本的な考え方

<p>ゾーニングの基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーンを明確に区分し、すべての人が安全に利用できるゾーニング ・参加者が利用しやすく、関連するゾーンが有効に機能するゾーニング ・各ゾーンを適正規模とし、国体総合開会式から障スポ閉会式まで仮設物の転換が最小限となるようゾーニング 	<p>動線の基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイヤル動線を他の動線と区分・分離して設定 ・動線は、選手・監督等、一般観覧者、式典出演者等の参加者毎に区分し設定 ・ゾーン配置や入退場の時間差を考慮し、動線ができる限り交差しないように計画
---	---

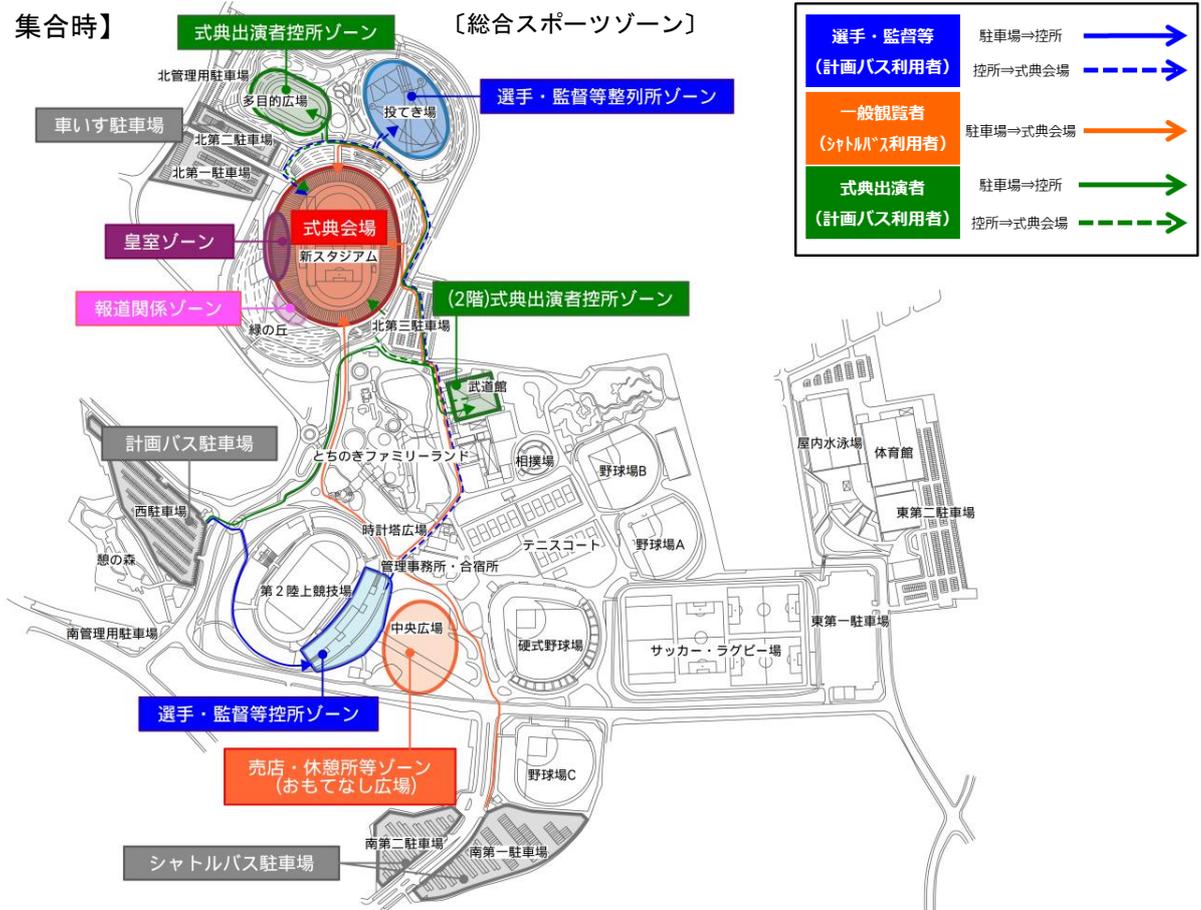
・ゾーニング、動線計画については裏面のとおり

5 整備スケジュール



ゾーニング・動線計画

【国体 集合時】



※動線交差部等については、時間別動線計画にて解消の検討を行う。

【障スポ 集合時】

